

人口急減社会におけるまちづくり

～地域包括支援センターと市民連携

平成27年2月7日（土曜日） 群馬学習センター

人口の高齢化はますます進行しています。高齢者の介護問題は福祉の中心的課題です。と同時に高齢者の経済的困窮も深刻化していて対応が必要だといわれています。また、地域経済の低迷や後継者不足はシャッター通りなどのまちの衰退をもたらしており社会問題となっています。

一方、地域包括支援センターは地域の高齢者の生活を支援する要といわれていて、窓口には多様な相談が日々持ち込まれています。地域包括支援センターを基点にしたまちづくりは可能でしょうか。それを議論することがこのシンポジウムの目的です。

市民はどう行動すべきか。行動する市民の学びの拠点である放送大学の新たな役割も含め地域包括支援センターと新しいまちづくりについて議論したいと思います。

ご挨拶 12:55 ～ 13:00

放送大学教授 山田知子

第1部 13:00 ～ 13:55

基調講演 「前橋市の中心市街地の空洞化を考える」

渡辺真理（法政大学デザイン工学部教授）

前橋市に生まれる。前橋高校卒業、京都大学工学部建築学科卒業、同大学院修士課程修了、ハーバード大学デザイン学部大学院修了 専門は都市のデザインなど2012年、茨城県桜川市多目的集合施設「真壁伝承館」で日本建築学会賞（作品賞）受賞（新谷真人、木下庸子と共同）、渡辺・下吹越 編著『小さなコミュニティー住む・集まる・つながること』彰国社（2012）他多数

休憩 13:55 ~ 14:00

第2部 14:00 ~ 16:50

シンポジウム「高齢者の生活問題の広がりと市民
—地域包括支援センターとまちづくり—」

シンポジスト

☆前橋市社会福祉課 太田均
前橋市の高齢者世帯の実情—高齢化、貧困化する高齢者世帯

☆前橋市地域包括支援センター（西部）副センター長 山田圭子
地域包括支援センターから見える高齢者の生活問題

☆前橋老人ホーム 田辺裕
養護老人ホームの現場から

☆認知症の人と家族の会 代表 田部井康夫
認知症の人と家族にとって住みやすいまちづくり

☆認定NPO法人じゃんけんぽん代表 井上謙一
市民はどうかかわるのか

コメンテーター 法政大学教授 渡辺 真理

コーディネーター 放送大学教授 山田 知子

このシンポジウムは、2014年度放送大学学長裁量経費研究によって開催されるものがある。

放送大学地域貢献プロジェクト委員会

山田知子（放送大学）

原田欣宏（高崎健康福祉大学・栃木県社会福祉士会）

田辺裕（前橋老人ホーム施設長）

清水重昭（群馬県介護人材センター所長）